

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第17号 発行日：平成27年10月1日
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

目次：

やまゆりからのお知らせ	1
A【安心】 安らぎの空間はいかが ラスール麻生	2
S【サプライズ】 川崎市折鶴の会 森政忠雄さん	2
A【アミューズメント】 みんなで作るカフェコンサート	3
O【お役立ち情報】 夏菟山修廣寺 坐禅体験	3
目指そう 【アクティブシニア達】のセミナー	4

認定NPO法人の資格を取得し、さらなる高みを目指します！

平成19年に開館したときには、サロンには何もなく

「殺風景で、こんなところに人が集まるのか」と

懸念されたこともありましたが……

開館当時に太田直氏（もと麻生区長）が期待された「やまゆりは社会的な実験施設である」という言葉の原点に戻り、中間支援施設としての、ますます責任の重さを感じるとともに、「麻生市民交流館やまゆり」という場を活用した事業を、区民の皆様様に提案していきたいと考えます。

理事長 植木昌昭



麻生市民交流館やまゆり

文化振興賞の賞状
 独自性のあるイベントや講座
 を数多く開催し、区民の交流
 を支援してきた実績を高く評
 価され麻生文化協会から贈ら
 れました。



奨励賞の盾
 川崎市制90周年の式典にお
 いて、先駆的な地域活動の展
 開を評価され表彰されました。
 盾は川崎マインスターの手に
 よるものです。

●認定NPO法人には、税制上のメリットがあります

1. Aさん(個人)からの寄附は…
 Aさんの所得税・個人住民税(県民税・市民税)から、
 寄附金額の最大約50%の税金が軽減
2. B社(法人)からの寄附は…
 経費にできる寄附金の限度額が高くなり、B社の法人税が軽減
3. 財産を相続したCさんからの寄附は…
 Cさんが寄附した相続財産が非課税になり、相続税が軽減

* 詳細は川崎市のホームページで確認してください *



Anshin 安心

安らぎの空間はいかが！

ラスール麻生は2014年4月に開設した特別養護老人ホームで、定員128名の方が入居している。ここには地域交流スペースとして、1階に地域交流ホール、2階に多世代交流ラウンジがある。高橋施設長は、「人の声が聞こえる、地域で安心できる場所であり、気軽に使ってほしい」と優しく微笑んだ。

特に目をひくのは、1階ロビーの壁と2階のショーケースを飾る、ブロック玩具を使った有名人絵画や宇宙戦闘機だ。組み立てたのは三井淳平氏で、常設のアートミュージアムとなっている。見事なでき映えて、これだけでも必見だ。そのほかに1、2階に図書があり大人向け6000冊、児童向け2000冊が閲覧できる。多世代交流ラウンジには子どもの遊びコーナーがあり、ブロック玩具で遊べる。これらは無料で開放され



見る人を空想の世界にいざなう

ていて、10時から17時あたりまで自由に入居できる。

そのほかに最近、地域交流ホールを使って、スタッフが作ったケーキとソフトドリンクが100円で楽しめる、「ふれあいカフェ」と「認知症カフェ」をはじめた。大きな窓から光がふりそそぐユッタリした空間は心地良い。カフェはそれぞれ毎月1回開き、「認知症カフェ」は市内団体の若年性認知症グループ「どんどん」との共催。

バスを下りて坂を登っていくと、その先に心に安らぎを感じる素晴らしい空間が待っている。是非一度訪れてほしい。



「ふれあいカフェ」で、くつろいだひとときを過ごす



若沖の大作「鳥獣花木図屏風」を、25万ピースのブロック玩具で表現(タテ×ヨコ:1.8×10m)

ラスール麻生

たかし とくのり

施設長: 高橋 得法

電話: ☎044-712-7722

所在地: 麻生区白山1-1-3

アクセス: 新百合ヶ丘発 大谷行きバス

「白山北緑地前」下車徒歩5分

駐輪、駐車場あり

ふれあいカフェ: 毎月第4日曜日

10時30分~16時

認知症カフェ: 毎月第2火曜日

13時30分~15時30分

* (注)ラスール: フランス語で「姉妹」という意味。地域と姉妹関係になれるように願いを込めた。

* (注)三井淳平: レゴ®認定プロビルダー(作品制作能力が世界最高レベルとの認定を受けた日本でただ一人の人)

* (注)若沖「鳥獣花木図屏風」: 江戸時代中期の画家、伊藤若沖の独特な画法「拵目描き」による屏風絵。花木とともに動物と鳥の楽園が描かれている。

取材・文 区民記者 中島久幸



Surprise サプライズ

孫の一言で被爆体験の語り部に

森政忠雄さん(川崎市折鶴の会会長・麻生区在住)



森政忠雄さんは今年82歳。柔和な目、大きな笑い声が印象的な「原爆語り部」の一人である。11歳の夏、広島で被爆・目撃した情景が余りにも凄惨だったため、その記憶を呼び覚まし、語り部として人に語りすることができるようになるのに、59年もの時間を必要とした。59年の間、被爆者であること、被爆の情景は、家族にすら話すことができなかったという。

語り部となるきっかけは、10年ほど前、当時小学5年生の孫娘から原爆のことを尋ねられたことだった。森政さんは、彼女の作文を見て、原爆や戦争がどれほど悲惨な結果をもたらすか理解できていることに驚き、小・中学生にも気持ちは通じることを知る。そして、語り部として体験を語り継ぐことは、生かされている自分の天命であり、苦しさや辛さを理由に黙っていることは許されない、と考えるようになったという。

森政さんは最後にこう語った。「ご依頼があれば、お話に伺います。私が自分の体験を語ることで、ひとりでも多くの方に原爆や戦争のむごたらしさ、悲惨さ、そして平和や命の尊さ、貴重さを理解していただければと思います。」柔和な目には、けれども力が溢れていた。



被爆時の凄惨な様子は、川崎市折鶴の会刊「折鶴の証言」(全234ページ)に詳しい。同書はやまゆりほか、市内の図書館及び市立の小・中・高校などに贈呈されている。

われわれは核兵器が非人道的兵器であることを証言す

なお、森政さんは区民講師に応募され、

「語る会」が、2016年2月麻生市民交流館やまゆりで予定されている。

取材・文 区民記者 仲原照男



Amusement アミューズメント

みんなでつくるカフェコンサート

岡上は麻生区の飛び地。古くは「おかのぼり村」と称し、江戸時代以前からの領域を変えずに今日にいたり、人情に厚い土地柄と聞いている。

この岡上で親しまれている麻生市民館岡上分館（小田急線鶴川駅徒歩7分）ではさまざまな文化団体が活発に活動している。そのひとつが地域に根ざしたこの手づくりコンサート。

2013,14年度、地域住民の手による住みよい街づくり、その基本を学ぶボランティア養成講座が2回にわたり同



企画運営会議。のりがいいんです、みんな。

分館主催で開催された。各回5日間の最終日の実習がこのコンサート開催。2015年度には講座修了者5名が実行委員会を結成し、ボランティアの協力を得て住民活動として企画運営にのりだすことになった。「岡上ののりの良さ、チームワークの良さで乗りきります」と代表の成田さん、のりのりだ。開催は11月と来年2月。

出演の常連グループは、同分館で活動しているオカリナ演奏、こどもフラダンス、混声コーラス、クラシックギターアンサンブル、ゴスペルなど。コンサートでは各グループが3、4曲を披露する。11月には安来節の踊りも参加予定。来年2月には木笛演奏も聴けそう。

お茶のサービスがついて入場無料。会場の体育室にはいつも大勢の老若男女が集まる。



こどもフラダンスの演技。かわいい～

～♪♪♪～ あっ、いま歌ってるの、〇〇さんだ！ 舞台と客席が一体となる。フィナーレでは会場の全員がエンディング・ソングを大合唱。

緑に囲まれた岡上分館で、音楽とお茶の、こんなひとときをどうぞ。

みんなでつくるカフェコンサート実行委員会

代表：成田 綾子
連絡先：麻生市民館岡上分館

開催予定日：2015年11月28日（土）
2016年2月6日（土）
13時30分～15時30分（予定）
岡上地区外からの入場者も大歓迎
運営ボランティア募集中

取材・文 区民記者 飯田保幸



Oyakudachi お役立ち情報

留学生が日本文化の坐禅を体験

「夏菟山修廣寺」(なつかりさんしゅこうじ)は、1400年代はじめに開創された禅寺（曹洞宗）で、末寺は現在6か所。山号「夏菟山」は、源頼朝がこのあたりで、夏に巻狩（まきがり：菟）をしたことに由来する。

この寺では、毎月第2日曜日午後3時から、坐禅会を開いているが、この日は菅原節生住職の特別な計らいで、川崎市立橋高校の国際科の留学生3人（カナダ、フランス、エクアドル）と日本語教師2人が、坐禅を体験した。

留学生は、仁王門の左右にある2体の仁王像、「阿（あ）形像」と「吽（うん）形像」に興味を持ったようで、しばらく眺めていた。



本堂で、住職から坐禅についてのお話。「坐禅で心を安らかにすると、自分をよく見つめられます」。

坐禅堂に向かう。副住職から、作法、足の組み方、手の結び方、姿勢や目線について説明があり、坐禅に入る。「目は閉じないで、斜め下45度に目線を下げてください」。

静寂な坐禅のなかに、住職の静かな声があった。「無心になって」「顎を引いて、腰骨を伸ばして」。精神を集中させて、約20分間の瞑想が続いた。

今日の作務（さむ）は、雑巾で本堂周りの床を拭く。はじめての経験。

留学生に感想を聞いた。「楽しかった」「色々なことを教えてもらった」「作務はまたやってみたい」など、言葉は少ないが、深い体験と感謝の気持ちが込められていた。

両足を組むのは、なかなか難しい。痛みをこらえて、何とかしようとする姿は笑えるが、楽しそう



住職から、お寺の概要と坐禅について、わかりやすい言葉で説明があった



汚れているところをきれいにするのは、心の掃除をすることになる

夏菟山修廣寺

所在地：麻生区片平2-8-1
お問合せ：☎044-988-0165
アクセス：小田急小田原線「柿生駅」・小田急多摩線「五月台駅」から各徒歩10分

取材・文 区民記者 石崎純也

目指そう【アクティブシニア達】のセミナー

今年度も実施されます。奥様の後押しも多いですよ！

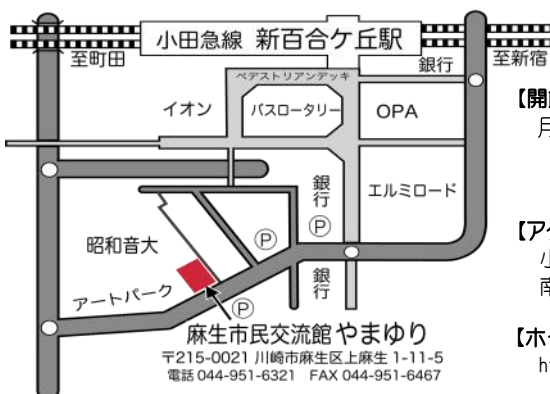


これからは……
スーツを脱いで♪

年齢を重ねるにつれ、友人や仲間が減っていくことはあっても増やしていくことは難しいとも言われます。人生80年の時代を迎えて地域の方々と地域デビューを学びあい、新しい出会いをしませんか。川崎都民だった皆さんは勿論、そろそろ現役卒業のかたも、子育てを卒業された女性の方も参加ください。

- 日程** : 平成28年1月16日(土)から2月20日(土) 全6回
毎週土曜 10時～12時
- 会場** : 麻生市民交流館やまゆり
- 対象** : 麻生区在住(近隣)で定年退職まぢかな現役の方々、定年退職されたの方々(女性も含む)
- 定員** : 25名(応募者多数の場合、抽選)
- 受講料** : 無料
- 応募方法** : 住所・氏名・電話・FAXを記入のうえ、FAX・ハガキ・電話で下記まで
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5 あさお市民活動サポートセンター
☎044-951-6321 FAX.044-951-6467
- 締め切り** : 平成27年12月23日(水)17時まで

このセミナーは単なる知識習得の場ではありません。
定年退職すると【地元】に酒飲み友達がいない【居場所】があるようでない【アウトプットばかりでインプットがない】という共通の課題に取り組みます。
仲間づくりを目指して、毎年、新しい会が生まれています。



- 【開館日】**
月曜～金曜 9時30分～17時
※平日の夜間、土曜・日曜、祝日も予約すれば利用可。
休館:年末年始、施設点検日
- 【アクセス】**
小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分
- 【ホームページ】**
<http://web-asao.jp/yamayuri/>

あさお区民記者

区民による、区民のための
情報発信を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の企画構成・取材撮影を担当しています。過去の取材記事はホームページに掲載しています。

<http://www.asao-ku.net/yamayuri-news.html>